



# 育友会だより



No. 5

白山市立北陽小学校育友会 2020年3月

## 一年間ありがとうございました!!

早いもので今年度もあとわずかとなり、現役員での活動も終わりを迎えようとしています。皆々様のおかげで無事に次年度の新役員達へバトンが渡せそうです。そこで最後に、現役員全員の個人としての感想を頂きましたので掲載します。今後も北陽小学校育友会をよろしくお願いいたします。

### -会長-

長いようであっという間の一年間でした。本当に一人の力は微力だと思いつつ同時に、仲間のありがたさを実感できる年でした。この世の中は人と人のつながりで成り立っています。ともすれば、今は通信技術の進歩で他人と直接接せずとも事が済んでしまう場合も多々あります。しかしながら実際に顔を合わせないで伝わらない事、その大切さも忘れてはならないのだと改めて学ばせていただきました。

子どもたちの為に…それは、廻って自分たち保護者の為でもあります。子どもと共に保護者も、ひいては学校や地域も成長していける、そんな北陽小学校育友会に今後も進化して行ってほしいと願います。

### -副会長-

先生方、地域の皆様、学級委員、保護者の皆様のおかげで一年間の育友会活動を終えることができました。

子どもが安全で元気に学校生活を送るためには、学校・地域・保護者が連携した協力体制が必要なのだということを、育友会活動を通じ改めて認識しました。

保護者の皆様におかれましては、子どもの健やかな成長のために、学校、地域と協力して何ができるかということをご検討いただき、今後も育友会活動にご支援いただければと思います。

### -副会長-

一年間初めて育友会役員として参加させて頂き、子供たちの学校での活動がより身近に感じる事が出来ました。

あと一年任期がありますので、今年度の反省を生かし、会員みなさんに負担を感じる事の少なくなるよう、そして子供たちが安心して学校生活を送れるような育友会の活動に取り組んでいきたいです。

### -副会長-

今年度は従来の活動をしながら新しい試みを行ったため、役員の中でも活発な議論が行われました。少子化によって活動を担う保護者の数が減り、働き方改革によって学校としての対応も変わりつつあります。こういった変化に合わせて育友会の活動も変えていく必要があると考えています。一方で、育友会の活動はボランティアでもあるので、負担になりすぎるのも好ましくありません。やることとやらないことを決め、効率を考えながら活動し、多くの人ができることを少しずつでも協力していければ、より良い育友会になっていくのではないのでしょうか。



### -会計-

今年度は月1回のあいさつ運動と併用して新田(相木)、横江地区の見守り活動を行いました。保護者、地区の方々にも見守りの輪が広がって欲しいと思います。

### -部長-

学校や保護者の方、役員の方々と協力し、子供たちのためにどうしたらよいか、何をすればよいかということを学ばせて頂きました。

### -部長-

この2年間の活動でたくさんの方と出会い、周りの方々のご協力のおかげで2年の任期を全うすることができました。本当にありがとうございます。

2年前にこの役を引き受けた時は緊張と不安でいっぱいでしたが、2年の任期を終えた時に、楽しかった、やって良かったと思える自分でありたいということを目指のひとつにしました。今、そう思っていることが本当に嬉しいです。

そして1年目も、2年目も、部員の皆さんと協力し、楽しく活動したいという目標も達成できたのかなと思っています。

皆さん様々な事情を抱えながら育友会に限らずいろいろな役をされていると思いますが、子どもたちの為、我が子が通っている学校の為、この地域に住む大人があるべき姿を見せていくことはとても大切なことだと思っています。

役員としての任期は終えましたが、これからも皆さんで協力しあい、助け合い、つながりを深め、より良い育友会となりますよう願っています。



### -部長-

1年間ありがとうございました！

### -部長-

初めて体験することだらけでしたが、周りのみなさんに助けて頂き、1年過ごすことができました。ありがとうございました。



### -部長-

今年度、育友会活動を一年行って、毎年当たり前のようにある行事の裏でたくさんの保護者、先生方に御尽力頂いているのだということを改めて感じました。

子どもたちが安全で安心して笑顔で学べるよう学校、家庭、地域、三位一体となって行っていけるよう今後も活動していきたいと思っています。

愛校作業や地区懇談会、学級懇談会等もっとたくさんの方に行事に参加して頂きたいと感じます。

